










# 日本銀行券の肖像

(平成16年11月作成)


日本銀行金融研究所  
貨幣博物館

肖像画	肖像人物のプロフィール	肖像が描かれた日本銀行券（発行年）
	<p>やまと たけるのみこと  <b>日本武尊</b> Yamato-takeru-no Mikoto（生没年不詳）  <small>けいこう</small>景行天皇の皇子。「古事記」などで、<small>やまと ちやうてい</small>大和朝廷による地方平定の勇者として伝えられる。<small>たけべ</small>建部神社（滋賀県）にまつられている。</p>	<p>甲千円券（昭和 20 年/1945）</p>
	<p>たけのうちの すくね  <b>武内宿禰</b> Takenouchi-no Sukune（生没年不詳）  <small>にほん しょき</small>「日本書紀」などで、大和朝廷初期の5天皇に<small>つか</small>仕え活躍したと伝えられる。<small>うべ</small>宇倍神社（鳥取県）にまつられている。</p>	<p>改造一円券（明治 22 年/1889）  甲五円券（明治 32 年/1899）  丙五円券（大正 5 年/1916）  い一円券（昭和 18 年/1943）  丙二百円券（昭和 20 年/1945）</p>
	<p>しょうとく たいし  <b>聖徳太子</b> Shotoku Taishi（574-622）  <small>ようめい</small>用明天皇の皇子。深く仏教を信じ、法隆寺などを建立。<small>すいこ</small>推古天皇の時に<small>せつしやう</small>摂政として政治を行い、憲法十七条などを制定した。</p>	<p>乙百円券（昭和 5 年/1930）  い百円券（昭和 19 年/1944）  ろ百円券（昭和 20 年/1945）  A 百円券（昭和 21 年/1946）  B 千円券（昭和 25 年/1950）  C 五千円券（昭和 32 年/1957）  C 一万円券（昭和 33 年/1958）</p>
	<p>ふじわらの かまたり  <b>藤原鎌足</b> Fujiwara-no Kamatari（614-669）  藤原氏の祖。645 年、<small>なかのおおえのおうじ</small>中大兄皇子と共に<small>そが</small>蘇我氏を滅ぼし（大化の改新）、<small>たいが かいしん りつりやう</small>律令制度の整備を推進した。<small>たんざん</small>談山神社（奈良県）にまつられている。</p>	<p>改造百円券（明治 24 年/1891）  甲百円券（明治 33 年/1900）  乙二十円券（昭和 6 年/1931）  丁二百円券（昭和 20 年/1945）</p>
	<p>わけの きよまる  <b>和気清麻呂</b> Wake-no Kiyomaro（733-799）  八世紀後半、<small>ながおかきやう</small>長岡京、<small>へいあんきやう</small>平安京の造営などに努力した。<small>ごおう</small>護王神社（京都府）にまつられている。</p>	<p>改造十円券（明治 23 年/1890）  甲十円券（明治 32 年/1899）  乙十円券（大正 4 年/1915）  丙十円券（昭和 5 年/1930）  い十円券（昭和 18 年/1943）  ろ十円券（昭和 20 年/1945）</p>
	<p>すがわらの みちざね  <b>菅原道真</b> Sugawara-no Michizane（845-903）  平安前期の学者、政治家。<small>だいご</small>醍醐天皇のとき<small>うだいじん</small>右大臣。太宰府の長官に左遷され、その地<small>きたのてんまんくう</small>で没。北野天満宮（京都府）などにまつられ、学問の神として信仰される。</p>	<p>改造五円券（明治 21 年/1888）  乙五円券（明治 43 年/1910）  甲二十円券（大正 6 年/1917）  丁五円券（昭和 5 年/1930）  い五円券（昭和 17 年/1942）  ろ五円券（昭和 18 年/1943）</p>

	<p>にのみや そんとく  <b>二宮尊徳</b> Ninomiya Sontoku (1787-1856)</p> <p>江戸後期の農村復興の指導者。通称<sup>きんじろう</sup>金次郎。数多くの村の復興をなし遂げた。<sup>にのみや</sup>二宮神社(栃木県)などにまつられている。</p>	<p>A 一円券 (昭和 21 年/1946)</p>
	<p>いわくら ともみ  <b>岩倉具視</b> Iwakura Tomomi (1825-1883)</p> <p>政治家。討幕運動の中心として、明治維新に貢献。明治政府成立後、<sup>ぜんけん たいし</sup>全権大使として欧米視察(岩倉使節団)。</p>	<p>B 五百円券 (昭和 26 年/1951)  C 五百円券 (昭和 44 年/1969)</p>
	<p>いたがき たいすけ  <b>板垣退助</b> Itagaki Taisuke (1837-1919)</p> <p>政治家。明治期の自由民権運動の代表者。1881年(明治14年)、自由党を結成。</p>	<p>B 百円券 (昭和 28 年/1953)</p>
	<p>いとう ひろぶみ  <b>伊藤博文</b> Ito Hirobumi (1841-1909)</p> <p>明治期の政治家。総理大臣を4回務める。大日本帝国憲法の<sup>はつぷ</sup>発布に貢献し、明治立憲制のもとで政党政治への道を開いた。</p>	<p>C 千円券 (昭和 38 年/1963)</p>
	<p>たかはし これきよ  <b>高橋是清</b> Takahashi Korekiyo (1854-1936)</p> <p>明治～昭和前期の政治家、財政家。日本銀行総裁、大蔵大臣(6回)、総理大臣を歴任。</p>	<p>B 五十円券 (昭和 26 年/1951)</p>
	<p>ふくざわ ゆきち  <b>福沢諭吉</b> Fukuzawa Yukichi (1835-1901)</p> <p>明治期の啓蒙思想家、教育者。<sup>けいおうぎじゅく</sup>慶応義塾を創設。人間の自由・平等や学問の大切さを説く「学問のすすめ」は当時のベストセラー。</p>	<p>D 一万円券 (昭和 59 年/1984)  E 一万円券 (平成 16 年/2004)</p>
	<p>にとべ いなぞう  <b>新渡戸稲造</b> Nitobe Inazo (1862-1933)</p> <p>明治～昭和前期の教育家、思想家。国際連盟事務次長。太平洋の架け橋になるという希望を實踐し、生涯を国際平和のために献げた。</p>	<p>D 五千円券 (昭和 59 年/1984)</p>

肖像画	肖像人物のプロフィール	肖像が描かれた日本銀行券（発行年）
	<p>なつめ そうせき  <b>夏目漱石</b> Natsume Soseki (1867-1916)</p> <p>明治～大正期の小説家。「<sup>わがはい</sup>吾輩は猫である」「坊つちやん」などを発表。わが国の近代文学に大きな影響を与えた。</p>	D 千円券 (昭和 59 年/1984)
	<p>ひぐち いちよう  <b>樋口 一葉</b> Higuchi Ichiyo (1872-1896)</p> <p>明治の小説家、歌人。主な著作「たけくらべ」「大つごもり」「にごりえ」、歌作数 4000 <sup>こくめい</sup>首を超える。24 歳という若さで亡くなるまでに、当時の女性の姿や気持ちを克明に表現した作品を数多く残した。</p>	E 五千円券 (平成 16 年/2004)
	<p>のぐち ひでよ  <b>野口 英世</b> Noguchi Hideyo (1876-1928)</p> <p>明治末から昭和初期の細菌学者。苦学のすえ細菌学の道に入る。<sup>おうねつ</sup>黄熱病、<sup>ばいどく</sup>梅毒スピロヘータの研究で知られる。黄熱病研究のために <sup>おもむ</sup>赴いたアフリカにおいて黄熱病により死去。</p>	E 千円券 (平成 16 年/2004)

(参考) 図柄として描かれている人物

	<p>むらさき しきぶ  <b>紫式部</b> Murasaki Shikibu (生没年不詳：平安時代)</p> <p>「源氏物語」(西暦 1000 年頃の作品)、「紫式部日記」などの作者。漢詩文など高い教養を身につけ、<sup>ちゅうぐうしやうし</sup>中宮 彰子 (<sup>ふじわらのみちなが</sup>藤原 道長の娘) に仕えた。</p>	D 二千円券 (平成 12 年/2000)
---	--	-----------------------